

平成23年度 事業報告

1.環境教育研究年報第20号の刊行（2011年12月編集、2012年3月発行）

2.環境教育実践センターだより（ニュースレター）（緑の風）発行

第1号2011年5月5日発行、第2号2011年6月6日発行、第3号2011年7月7日発行、第4号2011年10月10日発行、第5号2011年11月11日発行、第6号2011年12月12日発行、第7号2012年2月2日発行

3.栽培学習園での体験学習の実施

大学学部の授業（学生実習、観察等）

京カレッジからの受講、大学コンソーシアム京都単位互換聴講学生の受講、外国人留学生の受講

附属学校園

附属幼稚園 ジャガイモ、サツマ芋、タマネギ栽培、収穫等

附属特別支援学校 水稻の栽培実習

附属高等学校 竹の採取

京都市立及び私立幼稚園、保育園、児童館 ジャガイモ、サツマ芋栽培、収穫等

公開講座 幼稚園教諭対象、一般市民対象、小学生対象

公開講演会 一般市民対象

小学生の親子の栽培体験教室 地域の小学生の親子対象

中学生の「生き方探求チャレンジ体験」 京都市立中学校2年生対象

中学生の「職場体験学習」 附属桃山中学校2年生対象

4.公開講座の実施

1)。「幼稚園の自然観察、栽培、飼育実技講座」（京都府リカレント学習講座）

対象、幼稚園教諭17名、2011年4月16日～7月9日午後、計6回、延べ12時間

植村（清水台幼）、家田（むらさき幼）、河嶋（京都聖母短大）、田淵、広木、梁川担当

2)。「シリーズ環境を考えるー自然に親しむー」

対象、一般市民24名、2011年5月14日～11月19日午後、計6回、延べ12時間

前川、田中、延原、田淵、梁川担当

3)。「小学生のための科学技術実験教室」

対象、小学生17名、2011年5月21日～11月5日午後、計6回、延べ12時間

茶木（附属特別支援学校）、天野（大原野中学校）、岡田（西ノ京中学校）、

塚本（元雲ヶ畑小中学校PTA会長）、梁川担当

4)。「将来の地球環境問題を支える子ども達に贈る科学実験教室」

対象、小学生、午前クラス11名、午後クラス9名、2011年6月11日～2012年3月10日、各計6回、延べ36時間

川村（東京理科大）、工藤（奈良学園中・高校）、藤原（サイエンスEネット）、梁川担当

5.環境教育プログラムの実施

1).地球デザインスクール、富良野自然塾との連携による現職教員のための環境教育プログラム

2011年8月22日～24日、於 海と星の見える丘公園

講師 岡本、田中、安松（琴引浜ネイチャークラブ館長）、林原（富良野自然塾副塾長）

2).里山の使いみちー研究と実践／過去と未来ー

講師 奥 敬一（森林総合研究所関西支所主任研究員）

6.教育について考えるワークショップ・バイオマスエネルギーと環境教育

2011年7月28日、於 環境教育実践センター

講師 伊井野雄二（NPO法人赤目の里山を育てる会理事長）

7.講演会の実施

1).環境教育実践センター講演・研修会（京都市教育委員会との共催による現職教員のための研修会）

2011年9月9日（金）、於 京エコロジーセンター

講演「京都市環境教育スタンダード・同ガイドラインについて」

講師：京都市教育委員会専門主事 石原 芳一氏

分散会 各団体（A～D）の実践発表、ワークショップ

A 竹田幼稚園/深草幼稚園、パルセイト、京エコロジーセンター「幼稚園での環境学習」

B NPO法人気候ネットワーク「子どもエコライフチャレンジと温暖化防止のための体験プログラム」

C 京のアジェンダ21フォーラム、京都環境コミュニティ活動「自然エネルギーと環境学習」

D 総合地球環境学研究所「生物多様性教材を学校教育に取り入れる試み」

2).公開講演会

- 第1回 「植物面白話あれこれ ―散歩の道すがら―」
日時 平成24年2月22日(水)午後2時から4時
講師 田渕春三氏(京都教育大学名誉教授)
- 第2回 「環境と食の科学と文化 ―海に連なる食物連鎖―」
日時 平成24年2月29日(水)午後2時から4時
講師 阿部一博氏(大阪府立大学大学院教授)
- 第3回 「放射線被曝基準の裏表―歴史から考える原子力発電政策」
日時 平成24年3月9日(金)午後2時から4時
講師 岡本正志氏(京都教育大学教授)
- 第4回 「京都にみる花と緑のある暮らし」
日時 平成24年3月26日(月)午後2時から4時
講師 下村 孝氏(京都府立大学大学院教授)

8.子どもとともに植物の栽培体験教室の実施

子どもゆめ基金助成活動

「野菜や草花を栽培して育てる楽しみや不思議さ、大切さを学習する体験教室」
対象、小学生とその保護者 36組 72名、2011年4月23日～12月10日、計12回
午前10時～12時、梁川担当

9.中学生「生き方探求・チャレンジ体験」の受け入れ(京都市立中学校・京都市教育委員会の事業)

本センターは京都市教育委員会仲介事業所として中学生を受け入れ。
京都市立西ノ京中学校、2011年5月12日～5月18日2年生男子4名、
京都市立小栗栖中学校、2011年5月30日～6月3日2年生男子2名、
京都市立桃山中学校、2011年11月7日～11月11日2年生男子2名、女子4名計6名、
京都市立向島中学校、2011年11月7日～11月11日2年生男子2名、
いずれも5日間、9時～15時受け入れ

10.中学生「職場体験学習」の受け入れ

京都教育大学附属桃山中学校、2011年6月29日～7月1日2年生女子8名、
3日間、9時～15時受け入れ

11.教員免許状更新講習の実施

2011年8月4日(木)

講習名「丹後の自然再発見(1)」、岡本、坂東担当(丹後海と星の見える丘公園にて)
受講者数 28名(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、総合支援学校教員)

2011年8月5日(金)

講習名「丹後の自然再発見(2)」岡本、田中担当(丹後海と星の見える丘公園にて)
受講者数 29名(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、総合支援学校教員)

2011年8月12日(金)

講習名「植物の再生と簡便な無菌培養」、梁川担当
受講者数 29名(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、総合支援学校教員)

12.学長裁量経費によるプロジェクト

夢キャンパス大作戦(自治会を軸に学生有志の活動支援)

13.環境教育有機物リサイクルシステムの運転

平成16年度にこのシステムを設置、平成17年3月22日より、運転開始。この設備は、学生寮食堂から生じる生ゴミをはじめ、栽培した植物の残渣、除草した雑草、剪定した枝を粉砕したもの等の有機物を発酵槽に投入、これらを48時間で堆肥にし、さらに、ペレット作成機および乾燥機にかけてペレット状堆肥にするシステム。毎日70kgほどの生ゴミ等を投入して堆肥の作成を実施。作成した堆肥は本センターの栽培学習園に入れて植物栽培に利用して有機物のリサイクルを実践。

平成18年度より、ホテルグランビア京都から食材生ゴミを搬入して堆肥化し、得られた堆肥を用いたハーブの有機栽培研究を行うとともに、生産されたハーブはホテルで利用してもらうという事業を開始し、23年度も継続して実施。

14.環境共生園の整備の推進

15.環境破壊等で衰退、滅失、絶滅が危惧される植物の維持、増殖（今年度も継続）
—京都府の久美浜海岸における海浜植物トウテイラン等の植物について—
—滋賀県犬上川流域の低湿地に生育するタコノアシについて—

16.環境教育実践センターホームページの更新、管理

17.学校環境緑化センターとしてのサービス

本学藤森学舎、附属図書館、附属学校園、京都市立及び私立の学校園など

18.その他

1).ソーラー機器の展示（ソーラー発電、ソーラー温水器）

2).雨水利用設備の展示

3).気象環境の計測（気温、湿度、雨量、日射、日照、風向、風速）

4).ふれあい伏見フェスタ（4月9日）へ出展、「植物再生の不思議さを実感する培養実験」、「春の草花苗の販売」

5).緑のカーテンの実践（ゴーヤ、自然薯、アサガオ、ルコウソウ、フウセンカズラ、トケイソウ、ツルムラサキの袋栽培、プランター栽培）

6).野菜のトンネルの栽培実践（へビウリ、オモチャカボチャ、へチマ、トウガン、ヒョウタン）

7).附属桃山小学校、附属高等学校等の樹木剪定枝の木材チップへの粉碎協力と木材チップのマルチ資材としての利用に協力

8).太陽が丘（宇治市）の桜植栽計画に協力、株元への木材チップのマルチ資材としての利用

9).地域のボランティアによる環境教育実践センターの除草、土づくり、清掃、樹木の名札整備、栽培管理作業補助等の活動の受け入れ

（約20名の方が4月より月に1回程度の活動を実施、延べ160名）

10).京カレッジ受講生による夏休み（8-9月）、春休み（2-3月）における農業実習Ⅰ、Ⅱで栽培している植物への管理作業補助。

11).高齢者デイサービス施設における園芸活動指導

12).第23回KYOのあけぼのフェスティバル2011のワークショップに出店
（2011年11月23日、於 京都テルサ）